

進路だより

# いちご 一期 いちえ 会

小千谷市立総合支援学校 進路指導部

## 入学・進級おめでとうございます

平成 29 年度です。将来に向けての大切な 1 年が始まります。小・中・高とそれぞれの学習目標があると思います。すべては社会に出るための大事な学習です。一步一步確実に成長してほしいと思います。

### 平成 26 年度～28 年度の高等部卒業後の進路



進路	人数	内訳
福祉サービス利用	9 名	生活介護（2）・生活訓練（2）・就労継続支援 A 型（1）・就労継続支援 B 型（2）・就労移行支援（2）
企業就労	6 名	製造業（4）・老齢福祉（1）・飲食業（1）



これまでの卒業生 15 名、上記の進路を実現しました。みんな「〇〇に行きたい」という気持ちをもって、がんばった成果です。しかし、はじめから「〇〇に行きたい」と目標をもっていた生徒は、ほとんどいませんでした。では、どうやって目標を決め、実現したのでしょうか？

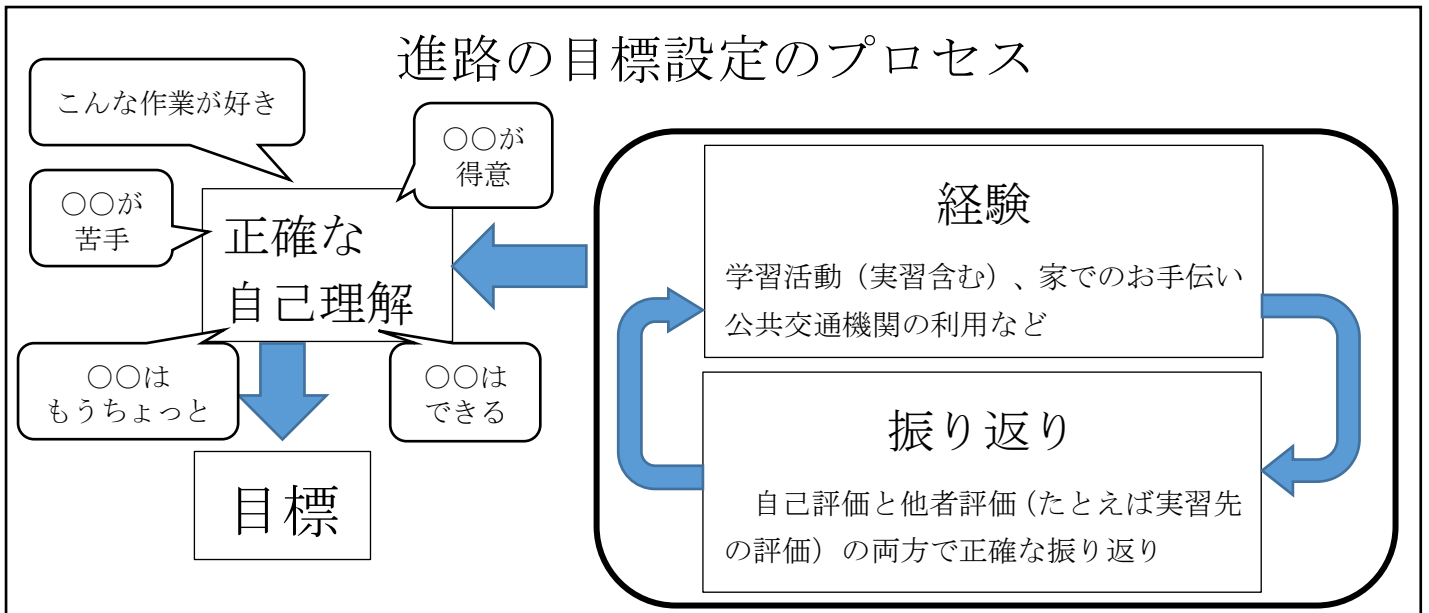
#### 1 進路の目標設定 ～自己理解から目標へ～

どの道を選択すると  
よいのだろうか？



高等部では将来を想定し、会社や福祉事業所で実際に仕事や活動を経験する現場実習があります。経験を通して自分の得意、不得意、好き、嫌いを振り返り自己評価をします。そして自己評価と実習先の評価、2つの評価をすりあわせて正確な「自己理解」へとつなげます。この自己理解ができて始めて目標設定が出来ます。卒業生たちは、自己理解を基に目標を決め、実現してきました。正確に自己理解が出来ていないと、目標自体が無理なものとなったり、本人に合っていないものになったりして、最終的に本人が苦しむこととなります。例えば、人と接するのが苦手な人がお店で働くと、「お客様に上手にお話ができない」と接客面で苦しむこととなります。においに敏感な人が機械の多い工場で働くと、油のにおいで気持ち悪くなることもあります。逆に、正確に自己理解が出来ていれば、進路先で高い評価を得ることが出来ます。コミュニケーションが得意な人が、お店や老人ホーム等で、高く評価してもらえたり、同じ仕事をずっとやり続けられる人が、工場では貴重な戦力となったりといった感じです。イメージだけで仕事を考えて失敗しないためにも、自己理解→進路目標というプロセスが大事になってきます。経験と振り返り、自己理解と目標設定の関係のつながりについては目標設定のプロセス図（裏面）を参考にしてください。

## 進路の目標設定のプロセス



## 2 ご家庭へのお願い

### (1) 身につけさせてほしい力

さて、正確な自己理解が出来るためには、様々な経験が必要となります。特にご家庭で大事にしてくださいな経験は、「お手伝い」と「公共交通機関の利用」です。お手伝いの有無や内容で、出来る仕事の幅が違ってきます。ほんの少しのお手伝いで結構です。できるだけ早くから始めるのがおすすめです。また、高等部の現場実習は、実習先までは個人で通勤（通所）することが基本です。卒業後に福祉事業所を利用する場合でも、ほとんどの事業所では自力通所が求められます。少しずつの経験が重要になります。



### (2) 進路情報の取得

進路を決めていく上で支援者の存在は大変重要です。最も身近な支援者は保護者の方です。お子さんにどのような進路が考えられるか、一緒に考えて選択できるように選択肢を提示してください。進路の選択肢を考えるには多くの情報が必要となります。具体的には以下のようなものです。

- ・福祉事業所の利用の場合 → 福祉サービスについて
- ・一般就労を希望の場合 → 障害者雇用制度、障害者雇用の現状
- ・子どもの将来の経済的基盤を考えたい場合 → 障害基礎年金について 等々

そのため学校では進路情報を発信する「進路教室」を行います。興味のあるテーマのときに、ぜひご参加ください。

## 3 タイトル “一期一会” について

元々は、茶道に由来する言葉で「茶会に臨む際は、その機会を一生に一度のものと心得て、主客ともに誠意を尽くせ」といった茶会の心得からきています。そこから「一生に一度だけの出会い。一生に一度限りであること」という意味で使われます。進路だよりのタイトルをこの言葉にしたのは、この気持ちで仕事に臨もうと考えたからでした。不思議なもので、こちらが誠意を尽くすよう努力すると、相手（福祉事業所や企業、関係機関の皆様）から、「こんなにさせていただいて良いのかな？」と思うほど実習での環境を整えていただいたり、進路に関わる良い情報をいただいたりしました。また、ご家庭の皆様から実習の際に多くのご協力をいただくことができました。今年度も心を新たに、皆様に感謝し、「一期一会」の気持ちで臨みたいと思います。よろしく願いいたします。

小千谷市立総合支援学校  
 【担当】進路指導主事 渡邊 憲将  
 TEL 0258-82-1878  
 FAX 0258-82-1889  
 Mail sogosien@ojiya.ed.jp